

Company Newsletter
Terrace HLDGS

2025.9

TERRACE TIMES

社員の推し活

ご鼎肩を愛でたり応援したりする
さまざまな形の推し活

解体今昔

桑原組が手掛けた建築物の
「今」と「昔」を巡る

社員対談

さまざまな事業の広がりを見せる
住空間創造事業部の社員に話を聞く

グランゲート広島 オープン2周年

関係者よりご挨拶

採用活動進んでいます

建設業界を志す学生向けの企業説明会

広報室レポート

奔走した日々の報告

事業部コラム

テラスHD各事業部からの近況報告

巻頭特集 広島電鉄・棕田昌夫会長との対談

広島
の都市変遷と
これから
の街づくりを語る

巻頭特集

広島電鉄

棕田昌夫会長との対談

(聞き手 広報室)

@広島電鉄本社

広島電鉄 会長

棕田 昌夫
(むくだ・まさお)広島大政経卒。1969年入社、
13年社長、24年6月より現職。
78歳。広島県呉市生まれ。

今号の巻頭特集は、ゲストに広島電鉄(広電)の棕田昌夫会長をお招きし、広島ของこれまでの都市変遷と、これからの街づくりについて語っていただきました。テラスホールディングスHD(グループ会社の桑原組も、ひろでん会館、宮島口駅舎、第二広電ビルといった広電の重要施設の解体を数多く担当してきました。特に、8月3日に開業した「駅前大橋ルート」が乗り入れる新広島駅ビルについても、その前身たる旧「ASSE(アッセ)」ビルの解体という形で貢献の機会を得ています。今後は、テラスHDが本社を構える西広島駅周辺の再開発など、さらなる都市構想において広電と一緒にできる余地が多くあります。棕田会長と桑原明夫社長両者の視点から、広島という街の成長と未来を立体的に描く場をつくりました。

■駅前大橋ルート開通の突破口

「駅前大橋ルートが新駅ビル「ミナモア」に乗り入れるという、周辺都市交通再編の「象徴的な瞬間」を迎えました。実現にはJR西日本や広島市との協力が不可欠だったと察せられます。突破口となった出来事はありますか。

棕田昌夫会長(以下、棕田) ちょうど

12年前、私が社長に就いてすぐ、JR西さんも支社長が交代し、それまでとは変わり「腹を割って話しませんか」という関係に発展しました。そこから担当者もそれぞれ5〜6人交えて、年2回、交流会を始めた。そうすると、いろいろと共通点が見つかり、問題点もはつきりしてきて、互いに工夫すればいいじゃないかと枠組みも分かってきたんですね。例えば、2階への乗り入れに関して「恐れるほどの傾斜ではない、古い電車でも十分入れる」といったことが判明しました。私たちからは、防災対策も鑑みて、電車2編成を置けるよう平面にしてほしいこと、そして従来の3ホームから長いホームを一つ増やしてほしいことの2点をお願いしました。それを条件としてくれるならうちも乗りましようと考えて、市も賛成してくれました。それがターニングポイントですね。

「桑原組がアッセ解体に際し難しいと感じた点がありますか。」

桑原明夫社長(以下、桑原) JRさんの軌道、いわゆる鉄道近接工事が非常にシビアでした。当時解体するのに14カ月を要し、「利用客の方に音を響かせない」、「粉塵を出さない」といった注文があり、ちょうど今のような夏

広島の都市変遷とこれからの街づくり



駅前大橋ルート試乗会

の時期に窓を閉め切った状態で乗り切らなくてはいけなくて…。室温は40℃以上になります。もう熱中症になるために入るようなものだから、作業を中止し、夜間に切り替えたり、鉄道近くを除くエリアの解体を進めたりという工夫をしました。広島の玄関口で、ターミナルとしての存在感があるので、いかに施工性を考えるかという点に苦労したと現場は言っていました。

■街の魅力なしに公共交通は残せず

「棕田会長は以前、広電の今後について「大手のまねも、地方の小さいところのまねもできない。オンラインワンでしか生き残れない」と話していましたね。」

棕田 その発言は、広島の街に魅力がないと、若者たちは外へ出かけてくれない、イコール公共交通を残すことも出来なくなるだろうとの意識から来ています。昔から公共交通は当たり前

存在としてあり、そのため、自分たちがお客さまを増やす努力を十分にしてこなかったという反省があります。これからは、単に「移動手段」を提供するだけでなく、イベント開催など新たな提案を通じ、人びとが街へ出ていくきっかけをつくる必要と考えます。「行ってみよう」「出かけた」というモチベーションを高めることが、結果的に公共交通の利用回数の増加につながります。ただし、街全体を盛り上げていく「街づくり」となると、私たち単独では実現できません。企業間も力を合わせて取り組むことが不可欠と感じました。そこで広島経済同友会の「まちづくり委員会」をやると同時に、広島都心会議の発足(2021年)も進めた。広島商工会議所の池田さん(晃治・ひろぎんホールディングス会長)は当時広島銀行頭取で、広島ガスの田村さん(興造会長)も誘いました。3人ともお酒好きで気が合ったもので、ひろしま美術館①



- 建築物解体工事
- 環境リスク対策 (土壌汚染、アスベスト対策)
- リサイクル処理

Kuwahara

人と街の歴史を未来につなげる街づくり

Instagram

本社：広島市西区己斐本町3丁目17-24
お問い合わせ先：082-272-6006 (代表)

④のガーデンパーティーの場で言いたいことを言い合った。皆、声も大きいしだんだんと「県が悪い、市が悪い」と舌も滑らかになる。「でもそれを言っても仕方ない。財界も悪いよ。汗をかくよ」と。いつの間にか真ん中のテーブルに私たち3人だけが取り残されているのも気付かずに(笑)。そこで「次のまちづくり委員会の委員長は梶田さんがやるべきでしょう」と引き受けることになりました。

「テラスHDも「リヴァーチエ」という広島駅周辺のにぎわい創出を目的としたイベントを運営しています。若手社員に企画・運営を経験させることの意義はどういった点にありますか。

桑原 きっかけは広電さんも参画された「カミハチキテル」(紙屋町と八丁堀のまちづくりを担うプラットフォーム)です。にぎわいづくりのきっかけに何かできることをやってみようと社員に自由に考えてもらいました。現在まで続いているイベント「リヴァーチエ」のベースにあるのは「カミハチキ」にも通ずる「地域に根差したものを推進する」ということです。そして、新規事業を通じた人材育成もベースにあります。成功体験を積み、失敗を恐れずに踏み出してもらうこと、まずはやってもらって推奨しています。最初は点と点かも知れないけれど、それが結ばれると線になるし、さらに事業領域も広がっていく。生まれ育った広島に貢献できる私たちでいたいと思います。

梶田 うちが歴史こそあれど積極性のない会社でした。私の社長就任後、社員にはまず「変わってほしい」と伝えました。そして「よそを見て来い、海外を見て来い」と毎年最大で30人ほどを欧州や豪州へ行かせた。出張報告書は不要、ただし一つだけ条件を付けて、「毎晩一緒に飯に行け」と。その経験以降、「できません」という返事が社員からなくなった。最低でも「考えてみます」へと変わり、若い社員が積極的に動くようになりました。組織というのはトップが考え方を変えなければ変わらないものです。私は失敗し

た社員を怒らず、嘘をついたり、隠し事をしたりすれば怒ります。部下にも、若い人に失敗を恐れさせずな、と伝えていきます。来年頃からは私も若手とミートイングをしたい。とにかく一緒に遊ぼうと言っています。人は追い込まれたらどこかで遊びが必要なんです。私は前任の社長を解任して就任したくらいなので、何かあれば自分で責任を取るつもりでした。

■今後の都市交通のあるべき姿

「近年、宇都宮のライトレールや九州の日田彦山線など、都市交通のあり方が全国的に見直されています。今後の都市交通のあるべき姿についての考えをお聞かせください。

梶田 芸備線が注目されていますが、JRと自治体は、住民の生活を守るために責任を持つべきです。私たちが立ち直るためには、大型バスや路面電車だけでは足りない。佐伯区五日市の湾岸地区にAーオンデマンドバス乗り場を70カ所ほど設置しました。スマー



在りし日のひろでん会館 (広島電鉄提供)



トフォンとの連携もしているものです。もちろん赤字だけでも、継続している理由は、公共交通は電車・バスだけではないと示すためです。ほかにも、ライドシェアや電動スクーターという選択肢もあるでしょう。要するに、連結もよく動きやすい街になったら、人びとは出てきてくれる。今からの公共交通は地域と利用者と、そして国の支援も欠かせません。やはりお年寄りや若い人がどんな街へ出てきてくれるよう先導したい。そういった公共交通を目指したいです。

桑原 桑原社長は普段自家用車での移動もしくはタクシー利用がメインになっていますが…。

梶田 私には広電のヘビーユーザーですよ(笑)。

「失礼いたしました(笑)。ヘビーユーザーの桑原社長にお尋ねします。「こういった未来志向の乗り物であればぜひ乗ってみたい」というリクエストはありますか。

りますか。

桑原 少子高齢化への対応が喫緊の課題かと思っています。私の実家があるエリアは圧倒的に高齢化が進み、コロナ禍を機に一時間一本までバスの減便が進んでしまったといった話も聞きます。高齢者への思いやり対策は必要ですよ。私の母親も運転免許証を返納して、家から動けなくなったようです。そうするとさらに足が悪くなるし、人との出会いも限られてきます。私は駅周辺に設置されることの多いレンタル自転車「ぴーすくる」のようなサイクルシステムや、電動キックボードなどのシェアリングサービス「LUP(ループ)」然り、使いやすいサービスが移動手段としてもっと身近になれば街は活性化すると思います。

「テラスHD本社周辺の西広島駅界隈でも二次交通の利便性が上がればにぎわいも変わりますか。

桑原 ずっと生まれも育ちも己斐っ子なので、思い入れのあるエリアであることは間違いないです。「地元なのだから力を貸してくれ」との声もあります。今は駅南側の東／西エリアの再開発の行方に関心高く見えています。幼い頃の一番の楽しみは「ひろでん会館」内に食堂があつて、そこでホットケーキを食べさせてもらった。そんな思い出のある街が開発から取り残されて

広島電鉄 会社概要

広島県内で鉄・軌道、バス、不動産事業などを展開し、幅広い領域で県民の生活を支える。1942年4月設立(前身の広島電気軌道は1910年設立)。従業員数は1605人(25年3月末時点)。



松原町内会の駅前大橋ルート見学会に参加

しまいました。己斐よりさらに西側エリアの商工センター、五日市、廿日市方面はぜひ整備されました。広島駅でさえ30年をかけて生まれ変わったので、後世に残す街にするためには広島全体の人口流出を抑える必要があるし、魅力のある街づくりは継続しなければならぬ。公共交通機関はその要になります。利便性が劣ってしまうと、東京や関西に出ていった若者は「だって広島は」と言うでしょう。JRとの接続がもっとうまくいけば、とも思うのですが。本社の最寄りである西広島駅の再開発もそうですが、引き続き、広島全体の再開発の面でご協力できる機会をいただければと思います。

社員の 推し活

馬越穂乃香
さん
(住空間創造事業部)



Mrs.GREEN APPLEとDIY

Mrs.GREEN APPLE (ミセス・グリーン・アップル、以下ミセス)は、私が高校一年生の頃に友人から教えてもらった『春愁』という曲をきっかけに聴くようになりました。ミセスは2025年7月でデビュー10周年を迎えました。それを見据え、昨年末に「何か特典があるはず」とファンクラブへ加入して本格的な推し活を始めています。ライブ初参戦はこの11月に控えており、北海道まで足を運びます。グッズもたくさん集めていて、最近、ミセスのロゴが付いたフライパンを買いました。ホットケーキを焼くと真ん中にそのロゴが入るんですよ。初グッズはグループの公式キャラクター「メメル」のキーホルダー。彼らはSNSでもよく情報発信をしており、私も欠かさずチェックします。LINE公式アプリにも登録済みで、彼らのオリジナルスタンプはほぼ全種類揃えました。汎用性も高く使いやすいものが多いです。友人と一緒に「ミセスへ届け!」と、デビュー10周年をお祝いするケーキも買い、記念写真を撮りました。

もう一つの推し活であるDIYに関しては、これまで親戚の結婚式用にウエルカムボードを作ったり、祖母の誕生日にフォトフレームを作ったりしました。いずれも木材を使い、身近なものでサッと作ります。一作品に一週間を費やして没頭することもあります。コロナ禍では家に引きこもって何作品か作りました。「無」でいられるのが好きですね。大学では建築を専攻していたので、図面作成などの作業に時間を気にせず集中してしまい、気付けば12時間経っていたこともあります。実は家に「電動糸のこ」があり、型に切ってやすりで削って仕上げます。DIYの中で一番好きな工程は色塗りで、グラデーション表現に凝っています。DIYにハマる前、私自身は絵が得意ではないと思っていましたが、作品を褒められることで自信に変わっていきました。ディズニーランドへ行った母からは、キャラクターの木製ベンチを「家に欲しい」と要望されてどうしようかな…と思案中です(笑)。ミセスのグッズも増えてきたのに部屋には置き場所がなくなってしまい、荒れ放題です。二つの推し活を融合させて、棚を作ったり、木材でロゴを作ったりしながら、自室をミセス仕様にしたいと考えています。



DIYしたウエルカムボード



デビュー10周年をケーキでお祝い



次回の推し活紹介コーナーは、環境リスクマネジメント事業部 黒川 彰大さんにご担当いただきます。



解体今昔 ～旧広島市民球場～

旧広島市民球場は、1957年に開場し、長年にわたって広島東洋カープの本拠地として市民に愛され続けてきました。市民からの募金で建設されたこの球場は、「たたき上げの球団」と「熱狂的なファン」が育まれた象徴的な存在です。数々の名勝負や名場面の舞台となり、特に75年の初優勝や91年のリーグ優勝は、広島市の街に大きな感動をもたらしました。

09年、カープの本拠地は現在のMAZDA Zoom-Zoomスタジアム広島(マツダスタジアム)へと移り、旧市民球場はその役割を終えました。その後、跡地は暫定的にイベントスペースとして利用されていましたが、再整備計画に伴い、10年に解体が決定。この解体工事を担ったのが桑原組です。思い出の詰まったスタジアムを、ただ壊すのではなく、多くの市民の感情に寄り添いながら慎重かつ安全に解体したその姿勢は高く評価されました。まさに「記憶を壊さず、未来へつなぐ」解体の手法ともいえるものでした。

現在、旧球場跡地は「ひろしまゲートパーク」として再生され、市民の憩いの場やイベント拠点として新たなにぎわいを見せています。



住む人のくらしに合わせて変えられる

そんな住まいの提案をしています

広島の新築・リノベーション施工会社

■施工管理 株式会社桑原組
■新築住宅 無印良品の家 広島西店

お問い合わせ
はこちらから



本社：広島市西区己斐本町3丁目17-24
お問い合わせ先：082-272-6006 (代表)

住空間創造事業部 対談

(聞き手 広報室)

テラスホールディングス（HD）グループ会社の桑原組・住空間創造事業部は、新築・リノベーション工事といった「創造事業」、賃貸・空き家管理などの「暮らし事業」を展開します。テラスホールディングス広島オフィスが入居する広島JPBビルディング2階の大型フードホール「グランゲート広島」の設計・施工も行いました。さまざまな事業の広がりを見せる住空間創造事業部の社員4人に話を聞きました。

―住空間創造事業部、さまざまな分野を手掛けていますね。

北川 史織（以下、北川） 社外へは（解体を担う環境リスクマネジメント事業部と比較して）「壊す方ではなく、ものづくりの方をやっている」と説明します。

塩谷 実可（以下、塩谷） 大きく「ものづくり」と掲げ、その中に新築やリノベーションというカテゴリがあるというイメージです。その他、3〜4階建てまでのRC構造物件の解体も行い、不動産物件も扱っています。対外的に説明が複雑なことから、自分が関わる分野をメインにお伝えしています。

安井 典子（以下、安井） 展開する事業が幅広いことも特徴です。

北川 ざっくりと「街づくり」の中の「つくる」部分を担っていると言えるでしょうか。私は2017年入社で、「無印良品の家」の新築事業や戸建てリフォーム、店舗の内装から仕上げも手掛けます。今は空き家再生の担当です。安井さんと共に「リノベチーム」に所属しています。

塩谷 私は18年に無印良品の家の設計担当として入社しました。（無印良品の家・広島西店を拠点とする）「MUJーチーム」での新築設計がメインでしたが、グランゲート広島オープンを機に



無印良品の家・広島西店

会社が飲食業を始め、「MUJー」だけではない案件も増えました。戸建てやマンションのリノベーション設計業務も担っています。

馬越 穂乃香（以下、馬越） 24年の新卒入社で、無印良品の家の図面作成から申請業務、塩谷さんがメインで担う図面作成のお手伝いやその他リノベチームから依頼を受けたパース作成、Instagramでの情報発信を行っています。

安井 私は25年1月、護国神社の新年互例会で会社デビューしました。今は住空間創造事業部全体に関わる事務全般、店舗や事務所改装、図面作成などもしています。

―目まぐるしいですね。働き方が参考になったり、尊敬したりする人はいますか。

北川 石村（重樹・事業部長）さんは全く異なる業種から出発していますが、（専門性の高さと業界構造の複雑さを背景に）マニアックなことが多い建築業界の中においても、全体を把握してまとめられる方です。（情報非対称で）

言い伏せられることも多いですが、それでも統率力を発揮してくれる方だという印象です。私たちは桑原組の東京オフィス関連、新築やリノベーション、不動産などさまざまなビジネスを展開していますが、人材に関しても適材適所を把握しており、全体を俯瞰できているように感じます。

安井 私は北川さんです。入社後に一から事務作業を教えてくれ、先を見据えた指示をくれます。私が北川さんに頼りきりで、席替えて離れてしまった時は寂しくて…。話も面白く、いつも元気をもらえる方として尊敬しています。

馬越 私は塩谷さんです。塩谷さんは建築業界の経験が長く、私が打ち合わせに同席したり現場についていたりした際に、お客さまからの質問に的確に対応されている姿をよく見ます。

塩谷 私は玉木（稔、設計課長）さんです。前職の頃から知っている仲で、桑原組にも呼んでもらいました。玉木さんは知識も豊富で、説得力もある。お客さまからの信頼が厚いように感じます。入社以降、初めて工事現場に向き、作業員の方とコミュニケーションを取る姿を見て、現場を訪れて学ぶことの多さを知りました。マンションのリノベーションでは、解体して初めて内部の配管構造が明らかになります。施主さんと打ち合わせをする時にはその場で即座の判断が求められることも少なくありません。単に要望を伺うだけでなく、適切なアドバイスが必要な場面も多く、そうした時にこそ玉木さ

んの確かな判断力が光りますよね。

―皆さんが持ちの資格について教えて下さい。

馬越 入社後に2級建築士を取得し、近々1級試験に挑戦します。

北川 1級は「バリすごい」よね。2級は「結構すごい」。

安井 分かります（笑）

北川 私は何度受けても駄目だと思っています。

馬越 他には福祉住環境コーディネーター3級を持っています。

北川 終活カウンセラー2級とファイナンシャルプランニング技能士3級があり、不動産の相談と終活に携わりたいと思います。

塩谷 整理収納アドバイザーくらいですが、最近では無印良品のイベントでセミナーを行いました。

安井 私馬越さん同様に2級建築士を持っています。また、ドローン（民間資格）の操縦・管理ができます。農業散布や配達などを除けば飛行撮影が可能です。20年に取得しました。

―資格が活かされるのはどんな時でしょうか。

北川 「住まいの終活セミナー」というイベントを定期開催し、空き家にまつわる相談の中で終活に寄り添う時があります。デリケートな問題なので、資格取得で学んだことが役立っているかも知れません。

馬越 今はなかなか資格取得を通じて培った知識と実務を結びつけることは難しいですが…。室内の間取りを考える際や、現場に出た際にそれらを結び付ける意識をしたいです。

北川 5月に竣工した260坪の駐車場案件で、ドローン利用した空からの撮影ができればよかったのに、と思います。その他新築物件といった完成物件を記録して披露できれば格好いいですよ。

塩谷 ドローン撮影は周囲が住宅地であれば制約は出てくるでしょうが、無印良品の家のモデルハウスを撮影しよ



うとの話は出ています。今後、完成物件を引き渡す際の記念として、その映像をお渡しすることもできたらと考えます。

―今後関心のある資格や挑戦してみたいことはありますか。

北川 宅地建物取引士の資格を取らなくてはと思っています。そうすれば一人でも不動産契約ができるようになります。

馬越 新築戸建ては（打ち合わせから資料作成までの）一連の流れをマスターしていかないとダメですね。塩谷さんや玉木さんのようにできるようになりたいです。うちは新築以外の店舗内装なども手掛ける事業部なので、今後も幅広く建築業界に携わりたいです。

北川 私はもともと新築用地を取得したいという思いがあり、空き家再生事業に携わりたいと手を挙げました。用地取得だけでなく、建築までの余白時間に駐車場運営で不動産活用をすることもあります。ほかにも、中古住宅の買取再販、販売だけでなく賃貸といったように、事業の幅を広げることにも貢献したいです。

塩谷 お客さまとの打ち合わせ機会が増えたので、相手に分かりやすい伝え方を磨き、自分の中の情報の引き出しを増やしたいところです。私は相手の話を聞きすぎる傾向にあり、お客さまに寄り添いすぎてしまうので、「（自分の中で）決め切る」、「提案しきる」ことができるように努めています。



YouTubeで記録動画公開中！／



Season1



Season2



Season3

私は、桑原組が「ひろしま国際ホテル」の解体を手掛けることを知ったのは、入社前の2024年10月の少し前だったと記憶しています。その時に「これは動画として記録を残さないといけない」と強く感じました。メディアに関わる仕事の経験から、過去の映像や資料がいかに貴重で重要なものかを痛感していたからです。かつて街のランドマークとして親しまれた「回転展望ラウンジ」を擁する同ホテルが姿を消していく様子は、後世に残すべき価値のある記録だと思い、「この案件はNHKの某解体番組で取り上げられてもおかしくないレベルですよ」と社長に提案しました。

現場での撮影を重ねる中で、暑い日も暑い日も、黙々と作業を続ける職人の皆さんの姿に何度も胸を打たれました。カ



／ 広報室SNSも更新してます！／



X



Instagram



Facebook

＊これぞプロフェッショナル！

■ランドマークとして親しまれた「ひろしま国際ホテル」の解体現場を記録

メラのファインダー越しに「これぞプロフェッショナル！匠の技だ！」と、心の中で何度叫んだことか。そんな現場の様子を、ぜひ多くの人に伝えたいという思いで撮影に思い続けました。

初めて撮影に赴いてから1年余り、ホテルの建物はすっかり姿を消しました。今、その場所では新たな土地活用に向けた街の再生が進んでいます。これまで撮りためた記録は、会社の公式YouTubeチャンネルで全5回にわたって配信予定です。今回のプロジェクトに関わったすべての皆さんの誇りとなるような記録作品に仕上げたいと願っています。

【以上報告 藤森憲也】

＊YES！YES！ボディシェイプでにぎわいづくり

■第6回リヴァーチエ開催

7月21日、広島駅周辺のにぎわいづくりの一環として「第6回 Rivace（リヴァーチエ）」を開催しました。テーマは「エキチカ！ボディシェイプ」。会場は広島駅南口地下広場と猿猴橋たもとの2カ所です。



ボディシェイプは大盛り上がり

午前は「ゼクシス広島」のインストラクターによる初心者向け格闘技系フィットネスが行われ、参加者は汗を流しながらリフレッシュ。その後はキッチンカーのかき氷やドリンクを楽しみました。午後の地下広場ではフラダンスや本格的なフィットネスレッスンが行われ、予約を

大きく上回る参加者でにぎわいました。「第6回 Rivace」は初めての夏開催でしたが、多くの人が集まり活気あるイベントとなりました。9月5日には、平日昼夜に「エキチカ！ビールフェス」を開催。クラフトビールや飲食ブースを揃え、華やかな金曜の夜を楽しんでいただきます。

【以上報告 朝田真由】

＊「幸せを食べる」って…？

■ラジオCM作品が「特別賞」を受賞

このたび、藤森憲也広報室長が制作したラジオCMが「シーチャレHFM CMチャレンジ2025」の「広島ドラゴンフライズ賞」という特別賞を受賞しました。グランゲート広島をPRするため、かねてから掲げているメッセージ「幸せを食べる」を前面に出し、リスナーの方に響く内容が評価されたものです。



ラジオCM収録現場の様子

受賞を記念し、広報室が実際にCM制作現場を訪問。録音の舞台裏や演出の工夫、プロの技術が詰まった現場の緊張感など、20秒の作品に込められた情熱を間近に体験しました。

今後地域に根ざした広報活動を通じて、企業としての魅力と誠実な姿勢を発信し続けていきます。

【以上報告 編集長】



グランゲート2周年

おかげさまでグランゲート広島は、この9月で2周年を迎えることができました。日頃よりご来場くださる皆さま、地域の皆さま、そして支えてくださる関係者の方々のお力添えの賜物と、心より感謝申し上げます。

開業以来、グランゲート広島は「広島の魅力発信する場所」として、また、訪れるすべての方にとってのサードプレイスとなることを目指して歩んでまいりました。

これからも、地域に寄り添い、笑顔と感動をお届けできる場所であり続けるよう努めてまいります。

各店舗代表からの感謝のメッセージをお届けいたします。皆さまへの感謝の気持ちと共に、これからのグランゲート広島にもどうぞご期待ください。なお、9月26日・30日まで周年イベントを開催します。ぜひお立ち寄り下さい。

グランゲート広島はおかげさまで、2周年を迎えます。これもひとえに、皆さまの支えがあったからこそと深く感謝しております。今後も、広島を発信し続ける場として、また皆さまのサードプレイスとして、幸せと笑顔をお届けしてまいります。（グランゲート広島支配人・乗松毅）

グランゲート広島・リベラテラスは2周年を迎えます。2周年を迎える事が出来るのも日頃よりご愛顧頂いているゲストの皆さま、またグランゲートで働く各テナントスタッフの協力があったからこそです。

広島駅周辺では、ペDESTリアンデッキの開通・ミナモアの開業により人の往来が増えますますますにぎやかになっていきます。

リベラテラスにおいても、北広島町とのコラボイベントを始めとする各イベント実施や新シェフ就任による新たな料理・空間をご提供できるよう精進してまいります。（リベラテラス店長・川本崇文）

おかげさまで、THE STANDARD BAKERS広島は2周年を迎えます。オープンから今日まで、ご来店いただいたお客さま、関係各所の皆さまの支えがあったからこそと、スタッフ一同深く感謝しております。

広島のお客さまはもちろん、色んな地域から来店されるお客さまの心に残るお店になるよう、日々精進してまいります。（ザスタンダードベイカース・山邊一歩）

いつも当店をご利用頂きましてありがとうございます。この2年間、自社製造のビールや発泡酒を中心に、中四国から仕入れた全12種類のクラフトビールを、樽生で常時ご提供しております。広島駅前では最大規模のクラフトビールを飲める店として、今後もさまざまなビールと、ビールによく合うおつまみを提供してまいります。0次会・2次会まで、さまざまなシーンでのご利用をお待ちしております。（広島北ビール代表取締役・平本祐也）



採用レポート

採用活動進んでいます！



桑原組のブース

■「建設業界企業研究セミナー」 出展レポート

6月21日、広島コンベンションホールにて「建設業界企業研究セミナー」が開催されました。本イベントは、建設業界を志望する学生に向けて、各企業の事業内容やキャリアパスを紹介する場として企画されたものです。参加学生は2027年3月に卒業予定の大学生や専門学校生などで、桑原組もブースを出展しました。

会場はJR広島駅北口から徒歩数分という利便性の高い立地で、多くの学生が朝から夕方まで熱心に企業ブースを訪れました。説明を担当したのは桑原組同期の若手2人です。当日を振り返った感想を聞きました。

当日は、県外出身の学生も多く参加しており、桑原組を広く知っていただけでなく良い機会となりました。

企業プレゼンテーションでは、参加者の多くが建築系の学生であったことから、学校での学びや経験が将来どのように職業に結びつくかを意識した内容に工夫しました。特に、施工管理を経験している社員が自身の体験談を交えながら説明を行い、学生にとってより具体的に業務をイメージ出来る場となりました。

午前中の早い時間からのスタートでしたが、回を重ねるごとに担当社員2人が連携し、学生とのコミュニケーションを意識した対応ができるようになってきたことは大きな収穫でした。また、学生との距離感を大切にし、質問しやすい雰囲気づくりに努めたことで、ブース内の対話は非常に活発なものとなりました。

その他、学生向け企業説明会として、「オープンカンパニー」にも取り組んでいます。



■情熱企業特別企画

7月9日、桑原明夫社長、環境リスクマネジメント事業部・小西敬二郎工事部長、住空間創造事業部・白鞘忠幸工務課長が出演した「情熱企業特別企画 未来共創ラボ（第1回）」の収録現場

を見学しました。本イベントは広島工業大学（広島市佐伯区）にて、学生と企業が共に未来社会を構想する場として実施され、45人の学生を前に参加企業3社の担当者による企業紹介と社長のトークセッションが行われました。会場は活気にあふれ、世代を超えた真剣な対話と新しいアイデアの創出が行われました。



当日の会場の様子

■キッズダムひろしま

7月19日、広島県内の小学4～6年生を対象とした職業体験イベント「キッズダムひろしま」に桑原組・環境リスクマネジメント事業部のメンバーが出店しました。キッズダムひろしまは、子どもたちが「好き」や「将来への気付き」を得るきっかけを提供することを目的に、県の後援で実施されているプロジェクトです。2023年に始まり、25年には一斉開催形式での本格的なイベントとなりました。将来的

には常設の職業体験施設の設立も視野に入れているようです。同事業部所属の有吉奏音さんに、当日のイベントリポートをお願いしました。

.....

桑原社長から中国新聞の告知記事を共有いただき、イベント主催者（キッズダム建国人）の青木俊介さんに連絡し、概要をお伺いすることから始めました。事業部内で検討する中で「桑原組を子どもや保護者に知ってもらい、解体事業のイメージアップにつなげたい」との考えから、参加を決めました。

当日の出店内容は、実際の現場作業員同様に作業服とヘルメットを着用の上、ショベルカーやダンプカーのラジコンを使ったお仕事体験を考えました。私たち社員が小学生の隣でサポートしながら、一緒に工事前KY（危険予知）活動を行い、ラジコンを操作した建物の解体の疑似体験、そして分別処分までの流れを体験してもらう工程を組みました。

ミニチュアのショベルカーはDIY



小学生がお仕事体験中

を得意とする社員が本物のクワハラレック仕様に塗装し、「クワハラステッカー」まで貼った「本物志向」です。当日の現場リーダーは黒川彰大さんが務め、小学生でも簡単にKY活動ができるようあらかじめチェックシートを作成しました。キッズダムひろしまでは、参加者が体験する職業をくじ引きで決定します。そのため、個々の業種や職種に対する関心や適性に与えられることなく、さまざまな解体工事の仕事について知ってもらう良い機会となりました。

イベントが始まると、初対面の参加者同士が声を掛け合いながら解体・分別・運搬を行い、実際の現場のような雰囲気づくりが出来ていました。終了後は「重機操作が楽しかった」「解体工事という仕事を初めて知った」といった感想が寄せられました。出店エリアでは、休憩時間も活用して体験を継続し、希望者で長蛇の列ができました。

.....



参加者も真剣に取り組む

事業部コラム

{ 環境リスクマネジメント事業部 }



黒川 彰大

7月19日、広島市中小企業会館で「キッズダムひろしま」が開催され、当事業部も参加しました。本イベントは、子どもたちが多様な企業体験を通じて好奇心を育むことを目的としています。当事業部は、桑原組の紹介に加え、「クワハラレッド」に塗装した重機ラジコンを使い、建物に見立てた模型を壊して「木くず」「石」「廃プラスチック」に分別する体験を企画。子どもたちは楽しみながら解体工事を学び、保護者には桑原組を知っていただく良い機会となりました。参加して特に驚いたのは、子どもたちのラジコン操作の飲み込みの早さです。自分自身の練習では思うように扱えませんでした。短時間で自在に動かす姿に感心しました。また、説明を通じて分かりやすい話し方や言葉選びを工夫することができ、大変勉強になったイベントでした。

{ 東京オフィス }



清水 勝史

東京オフィス開設から5年が経ち、フィルム工事や解体工事においても安定した受注が得られるようになってきました。近年は数千万円規模の案件も増え、内装解体や修繕工事など工事内容も多様化しています。

そうした中、9月より住友不動産案件の空調更新工事が新たに始動します。本工事は、オフィス内の空調設備更新に伴う養生や天井ボードの撤去・復旧が主な作業となります。まずは中規模ビルからスタートしますが、来年度には億単位の大規模物件も予定されており、今後数年間にわたり継続的な受注が見込まれます。

このチャンスを確実に捉え、より高い品質と信頼を提供することで、東京オフィスのさらなる飛躍につなげてまいります。

{ 住空間創造事業部 }



玉木 稔

MUJI・リノベ事業の一環として、9年前に広島市西区観音新町に「無印良品の家」のモデルハウスを建設し、新築住宅を検討されるお客さまに対して、営業・設計・工事を一貫して対応しています。

リノベーション事業では、無印良品のアルパーク店からの紹介による一般のお客さまのリフォーム工事（営業・設計・工務）を担当するほか、弊社所有の分譲マンション（南区元宇品）に設けたリノベーションモデルハウスを運営し、マンションリフォームから改修工事も行っています。

また、具体的にお住まいの購入を検討される方に向けて不動産事業も展開しており、このたび安佐南区と西区に土地を取得し、幅広い層のお客さまに住宅をご提案できるよう活動しています。

住まい探しをご検討の方がいらっしゃいましたら、ぜひお気軽にご相談ください。



{ 経営企画部 }

的 尚也

●**人事総務**：9月は社会保険料の定時改定月にあたります。4月から6月の給与を基準として標準報酬月額が決定され、9月分（10月納付分）から新しい保険料が適用されます。人事総務では、算定および各種届け出を通じて、正しい保険料が反映されるよう、着実に対応を進めております。

●**経理**：決算期が迫り、各部門においても期末数字を意識した業務運営が求められる時期となってまいりました。経理では、各部門からの情報をもとに数値を予測・集計し、精度の高い決算を目指しております。全社が一丸となり、良い決算を迎えられるよう、四半期残りの期間も力を尽くしてまいります。

{ GRAND GATE HIROSHIMA }



川本 崇文 末盛 圭吾

リベラテラスは8月30日に第2回目となる「北広島レストラン」を開催しました。北広島町の食材を使用したビュッフェをお楽しみいただきながら、大迫力の神楽を間近で鑑賞できる大人気イベントです。今回はドリンクメニューにもこだわり、同町産のどぶろくを使用したカクテル「ストロベリーどぶろく」や「芸北アペロールスピリッツ」などを用意し、ご好評いただきました。次回もお楽しみにお待ちください。

ザ・スタンダードベイクーズでは、モーニング／ランチセットを6月19日にリニューアルしました。これに伴い値上げもしたため売れ行きが不安でしたが、1日70食を突破する人気メニューとなりました。

7月からは「夏野菜と完熟トマトのラタトゥイユ」を開発・発売。人気商品の一つとして貢献してくれています。今後も、お客さまに喜んでいただける商品やサービスを提供できるよう努めてまいります。



{ 事業推進室 }

小川 宏明

この3カ月間は、土壌汚染対策の施工管理をはじめ、グループ会社のホームページ作成、営業活動、研修講師など、幅広い業務に取り組んできました。2月から始まった土壌汚染対策の施工管理も終わり、行政への報告書も無事に受理され、一連の対応業務に区切りがつけました。毎回のことながら、完工時、特に汚染土関連では「報告書の受理時」に得られる達成感は格別です。

また、事業部サポートとして、内装工事を中心とした営業活動にも取り組みました。ここ一年間の実績をご紹介するだけでも、お客さまから高い評価をいただける機会が多く、改めてメンバーの働きぶりを誇らしく感じています。

さらに、今秋には講師としての登壇依頼が2件予定されています。他事業部が積み重ねてきた評価にも劣らぬ内容となるよう、早めの準備を進めてまいります。



Terrace HLDGS?

HP



X



Instagram

